

事業所名

社会福祉法人のゆり会 のぞみ発達支援室きさらづ

支援プログラム

作成日

2025年

2月

20日

法人理念		子どもから成人まで体の健やかな成長を願い、時にかなった福祉サービスの提供をする 保護者への支援を通して、将来への展望をもって協働する 地域社会に関わられた施設を目指す					
支援方針		のぞみ牧場学園を卒園した児童に対し、卒園後も専門的な療育指導を継続する。併せて就学後に直面する様々な問題の解決に向けて、保護者や関係者とともに対応する。 近隣地域の市役所、福祉センター・保健所等と連携し、学校教育以外の指導を希望している学齢児、保護者に対しても、同様の対応を行なう。					
営業時間		8時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康状態のチェックと必要な対応を実施する。 保護者もしくは支援者に対して心身の状況を確認し、利用中に体調の変化がある場合には適切な対処（例：医療機関への受診、保護者への状況の報告など）を行う。					
	運動・感覚	粗大運動、及び微細運動の状況について一人一人の子どもを評価し、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化などに関する具体的な支援を行う。 感覚統合の視点を取り入れながら、個々の感覚ニーズに合わせ必要な感覚刺激を調整できるよう配慮する。 乗馬セラピーを通して、腹筋や背筋などの筋肉の強化、体幹の安定、姿勢の改善を図る。					
	認知・行動	心理士等各専門職が一人一人の子どもを評価し、発達段階に応じて適切な指導を行う。 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる不適切な行動に対しては、事前に環境調整など予防策を講じ、適切行動の獲得に向けた支援を行う。					
	言語 コミュニケーション	発達段階に応じ適切なコミュニケーション手段（マカトンサイン、絵カード等）を選定し、環境及び関わり方の調整を行う。 書字、読字能力の向上に向けて適切な支援を行う。学校の教科学習へのフォローを行い、学習における適切な支援の方法を保護者及び学校と共有する。					
	人間関係 社会性	SST（ソーシャルスキルトレーニング）を実施し、対人関係や社会生活を営むために必要な技能を習得する。 子どもの発達段階や特性に応じた環境調整並びに関わり方について検討し、子ども自らが自発的に集団に参加し手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。 音楽療法やアニマルセラピー等を通し、情緒的な安定を図ると共に、適切な周囲との関わり方を身に付けられるよう支援する。					
家族支援		フィードバックの時間に子どもの発達の状況の相互の把握に努める。 必要に応じて個別面談を実施し、保護者への相談及び助言を行う。			移行支援		学校や他事業所、相談支援事業所等関係機関との連携を図り、必要に応じて担当者会議の実施及び参加を行う。
地域支援・地域連携		地域中核拠点登録事業所としての障害児支援事業所への研修会の実施 保育所等訪問事業の実施 地域行事への参加及び地域に関わられたイベントへの開催			職員の質の向上		研修への参加や資格取得の積極的な推奨 年間計画として、研修機会の制定 子どもに関連のある機関との連携会議への参加
主な行事等		外出活動、電車乗車体験、買い物活動等 地域行事：羊の毛刈りパーティー（地域イベント）、ハワイアンナイト（地域イベント）					